

区立学校における ICT 推進に関する取組の進捗状況等について

令和5年度区立学校における ICT 推進にかかわる主な取組の進捗状況、及び令和5年度に実施予定の主な取組について、以下のとおり報告する。

1 教職員向け ICT 活用研修の実施

○現時点での取組状況

(1) ICT 推進リーダー連絡会

各校1名のICT推進リーダーが集合し連絡会を行った。これらの内容は、自校の職員会議等を利用して教員間で共有を図った。

日 程	内 容
4 月	全体会：ICT 推進リーダーの役割・今年度の取組等の共有
5・7・9 月	分区分会：各校の現状や実践事例等、成果や課題についての共有
8・10 月	分区分長会：分区分会が出た各分区分の現状や実践事例等、成果や課題についての共有

また、公開授業を小・中学校4校にて実施し、実践事例について協議し、自校でその内容を還元した。

日 程	授 業 内 容
7 月 7 日	「総合的な学習の時間」におけるプレゼンテーションソフトを活用した実践
7 月 11 日	「理科」における協働学習ソフトを活用した実践
9 月 21 日	「社会科」における協働学習ソフトを活用した実践
9 月 21 日	「算数科」におけるプログラミング教材を活用した実践

(2) 訪問要請型研修

10 月末時点で、計 31 回実施。主な内容は以下のとおり。

- ・授業での協働学習ソフトの効果的な活用
- ・授業や家庭学習でのデジタルドリルの効果的な活用方法
- ・保護者連絡ツールの活用方法
- ・インターネットや SNS の利用における情報モラル

(3) 教員向け研修動画の配信

10 月末時点で、計 70 本の動画を配信。主な内容は以下のとおり。

- ・いじめ、不登校の未然防止等、生活指導に関する研修
- ・サービスの厳正に関する研修
- ・学校管理職を対象とした若手教員育成に関する研修
- ・授業実践に関する動画

○今後の取組予定

- ・指導主事が学校の実態に基づいた必要な研修を提案し、訪問型要請研修の機会を拡充する。
- ・講義等動画の配信数と内容のより一層の充実を図り、教職員が学ぶ環境を更に整える。
- ・ソフトウェア事業者協力の基、他自治体の実践的な活用事例を取り入れる。

2 デジタル教科書実証事業の実施

○現時点での取組状況

令和5年度は文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」、東京都「デジタル教科書授業実践開発事業」、及び区教育課題研究指定校等の予算を活用し、以下のとおり導入した。

外国語	算数・数学	国語	理科	社会
全校	34校	2校	1校	2校

○今後の取組予定

学習者用デジタル教科書のより一層の効果的な活用に向けて以下の取組を行う。

- ・文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書事業」では、抽出校の教師及び児童生徒にアンケートを実施し、活用状況等を把握する。(令和5年度12月)その結果を、今後のデジタル教科書の活用方針に生かす。
- ・東京都のデジタル教科書実践開発事業モデル校は、東京都教育委員会による授業視察や指導助言を生かし、実践開発を行う。(令和5年度1月)
- ・済美教育センターによる学校訪問、授業視察を通して、各校へ指導助言を行う。

3 新たなオンライン学習システム「MEXCBT」の活用

○現時点での取組状況

(1) 杉並区「意識・実態調査」の実施

対象(調査人数)	時期	内容	目的
児童・生徒※ (20,253名)	6月	学習活動の状況や他者との関わり等に関する質問調査	児童生徒自身の振り返りや教員の指導改善等に活用する。

※小学校第1学年と中学校第1学年は除く

(2) 全国学力・学習状況調査「話すこと調査」の実施

対象(調査人数)	時期	内容	目的
中学校第3学年生徒 (1,816名)	4・5月	画面と音声の問いに対して、英語で答える学力調査	生徒の学力等を把握し、教育指導の充実や改善等に役立てる。

○今後の取組予定

- ・杉並区「意識・実態調査」は、11月と2月にもMEXCBTを活用して実施し、児童生徒の変容等を把握し、児童生徒理解に生かす。

4 仮想空間を活用した不登校児童生徒への支援に関する研究

○現時点の取組状況

オンライン上の仮想空間を活用し、関わりの場や学びの場を提供する

- ・まずは、適応指導教室（さざんかステップアップ教室）に利用登録している生徒を対象とする計画を立て、10月に適応指導教室（さざんかステップアップ教室）拠点教室の職員への説明会を実施した。
- ・令和5年11月、適応指導教室（さざんかステップアップ教室）利用登録生徒及び保護者を対象に、説明会と体験会を複数回実施した。
- ・説明会開催後、希望生徒を対象に順次試行を開始した。（参加費は無料）
- ・運用に際しては、指導主事や適応指導教室職員等が仮想空間に常駐し、生徒の指導及び支援を行っている。

○今後の取組予定

- ・令和6年3月、体験をした生徒を対象にアンケートを実施・分析して、成果や課題等をまとめ、今後の活用方法を検討する。